

高強度せん断補強筋ストロングフープ用棒鋼 KSS785 【建築材料認定】国住指3956号、3957号 (MSRB-0124,0125)

鉄筋コンクリート造建築物の梁、柱のせん断補強筋としてご使用頂ける製品です。


特長

1. 普通鉄筋SD295に比べ、はるかに高い降伏点強度を利用したせん断補強筋で、短期許容応力度は2倍になります。
2. コンクリート強度に適合した鉄筋強度で有効なせん断補強ができます。
3. せん断補強筋の過密化を解消します。
4. せん断補強筋の重量を軽減し、作業性が向上します。
5. 溶接閉鎖型が出来ます。

機械的性質

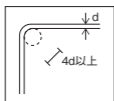
試験片	降伏強度 N/mm ²	引張強さ N/mm ²	伸び %	曲げ性	
				曲げ角度	内側直径
母材	785以上	930以上	8以上	180度	公称直径の3倍
溶接部	785以上	930以上	5以上	—	—

寸法、質量および表面形状

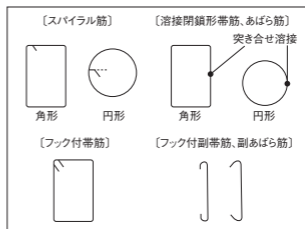
種類の 記号	呼び名	公称直径 mm	公称 断面積 mm ²	単位質量 g/mm	表面形状
KSS785	S6	6.35	31.67	0.249	 凹異形 (水玉)
	S8	7.94	49.51	0.389	
	S10	9.53	71.33	0.560	
	S13	12.7	126.7	0.995	
	S16	15.9	198.6	1.56	

曲げ加工性

折り曲げの内径直径は
4d以上とする
(d:呼び名に用いた数値)



主な加工形状



ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものを除き、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ所有者の商標または登録商標です。